



社会福祉法人 御前崎厚生会  
 特別養護老人ホーム 灯光園  
 電話 (0548)63-3729(代表)  
 FAX 63-4131  
 灯光園デイサービスセンター  
 63-6002  
 灯光園在宅介護支援センター  
 63-5116  
 灯光園居宅介護支援事業所  
 63-5115



## 広い視野で

理事長 松下秀夫

国際障害者年が叫ばれたころであろうか、新聞の社説で「人間はみな障害者である」という衝撃的なタイトルに引き込まれて読んだ。

内容は「人生の中で、おぎゃーと生まれてから独り立ちするまでの間、そして老いにより人の世話になる間は自分一人では生きていけない。いろんな人の支援を受ける期間である。誰もが通る道であり、障害者と特別に構えるものでない」障害者も健全者も垣根のあるものでないという考えを示した記事と記憶している。

今では障害の範囲も発達障害や認知機能障害等、複雑化している。身体、知的、精神といった狭義の障害者の定義でなく、広い視野で物事をとらえる大切さをこの記事に教えられた。

## いつまでも元気に暮らそう

ユニットリーダー 名波 学

私のユニットは、長寿のユニットです。九九歳の方が二名と一〇一歳の方が一名、そして一〇三歳の方が一名です。九〇歳を超えている方も多のですが、毎日皆さんの笑顔で溢れています。

毎朝「おはよう、今日もええ天気だね。」と入居者さんと挨拶をかわし一日が始まります。

ご飯を食べて、仲のいい方と他愛のない会話をしたり、運動がてら散歩に出掛けたりします。大好きなお風呂に入り、長いようで短い一日が終わります。

その中でも一〇三歳のSさんは、職員が洗濯物を持っていくと「わしがたたむで貸しておくれ。」といつも笑顔で洗濯物をたたんでくれています。「わたしは、こういうことをするのが好

きだでいつでもやるよ。」と言ってくださりとでもありがたく頭が下がります。

また料理も大好きでお料理クラブがあるときは、「やあ、こういうのやると楽しいでいつでもやりたい。また参加させておくれよ。」と張り切って参加しています。

「なにか、わしに仕事をおくれ」「世話になってばかりで悪いで、わしはできることをやるよ。」と話をするSさんはいつまでも働きの者です。

歳を取ってくると、意欲が減ってきてしまいますが、いつまでも元気でいるためには、何かにチャレンジすることが大事だなと感じました。

その中で食事や水分、運動なども大事ですが、日常で今までやってきたことを継続していくことも大事なことで感じています。

歳を重ねると、自分の役割が無くなってしまおうと思う方も多



いかもしれません。少しのことでも今まで出来ていたことが、出来なくなるとショックを受けしてしまうこともあります。ちよつとした手伝いでも、こちらでやるからと断ってしまうと意欲がなくなってしまうのではないかと思えます。いつまでも元気に生活するためには、何かに取り組むことだと思えます。これからも皆さんが、元気に生活をしていけるようにサポートしていききたいと思えます。

## ブレイクタイム



8月の下旬に、毎年恒例の夏祭りが行なわれました。新型コロナウイルスの影響で規模は縮小したものの久しぶりのイベントに入居者さんは、とても楽しまれました。

かき氷に焼き鳥、ヨーヨー釣りに輪投げ。最後には大きなスイカやメロンが当たると引きなどが盛り上がりました。くじ引きでハズレが出てがっかりして帰る方も大勢おりましたが…。焼き鳥には、コレだとはかりにビール(ノンアルコール)を持参してくる入居者さんがおり、それには準備の良さに驚きました。

祭りというのはいくつになっても嬉しいことですね。盆踊りや太鼓の音で心躍るのは、やはり日本人だからでしょうか。入居者さんを見て思いましたが、いくつになっても童心に戻れる日があるっていいのはとても素敵なことですね。

生活相談員 松下浩之

## コロナ感染症予防について

灯光園住宅介護支援事業所 佐藤 僚子

ケアマネジャーは『モニタリング』として、毎月ご利用者様住宅を訪問、ご利用者様、ご家族様と会って状態やサービス利用について確認しています。いろいろなことを聞かせていただき、今後の支援やサービスの變更を考えます。『対面する』と言うことがモニタリングの要件になっていたので、できるだけご利用者様、ご家族様のご都合の良い時に訪問して会っていたいです。またサービス担当者会議はご本人様、ご家族様に出席をしていただき、ご自宅で開催することが基本になっていますので、昨年からコロナ感染症が流行してもこのやり方で特に変更なく開催させていただいています。もちろん感染症対策はしています。検温、マスク着用、手指消毒し、車も利用後に消毒をするようにしていま

す。今年度、介護保険法の改正でケアマネジャーも感染症予防の取り組みをすることが組み込まれ、発生やまん延防止のために委員会の設置、指針の整備、研修や訓練の実施が必須になりました。これを受けて灯光園住宅では、ケアマネジャーで話し合いをして情報共有や対策を検討し、灯光園の感染症対策委員会に参加して全体の方針や対策を共有しています。こうした対策をして、今までは大丈夫と判断して訪問やサービス担当者会議をさせていただいてきました。もちろんご利用者様、ご家族様、各事業所の皆様のご理解があつてできたことです。しかし、静岡県にも感染が急拡大して緊急事態宣言が発令されました。今までのような感染症対策では感染拡大を止められない事態になったのです。今まで大丈夫だと考えていた訪問やサービス担当者会議も、もつと考えなければならぬということですね。自分の判断の甘さを反省

しました。

ご利用者様、ご家族様のなかで訪問や担当者会議を本当は嫌だった方、この状況で人が来るのは嫌だけれどケアマネジャーが言うから仕方がない、と思つた方がいたのかもしれない。訪問や担当者会議など、もつと配慮していきます。コロナ感染症の状況を確認し、感染症予防の取り組みをもつと考えながら、在宅でのご利用者様、ご家族様の生活を支えていきたいと思ひます。



灯光園デイサービスセンター

## 心む俳句教室

年取るも 葉月の寂しき

まだ続く

風を抱く 暑さ忘れた

心地よき

梅雨明けて 風鈴の音

昇りゆく

YKさん

『お母さん』と言つて

戦地へ 若者死の旅へ

ISさん

玉音放送 今でもあの声

耳の奥

MMさん

塩作り 米と交換あちこちへ

MTさん

群雀舞い立つ 羽音空の青

朝顔の色とりどりの夏の庭

SYさん

### 灯光園での仕事

ユニット職員 太田良香帆

私は、昨年三月に灯光園に転職してきました。前職は介護とは関係のない仕事でしたので、最初は不安な気持ちでいっぱいでした。

灯光園では、入居者さんが自宅で過ごしてきた生活リズムに合わせてケアをしています。入居者さんにあったケアをするには、その人のことを知らなければいけません。最初は、上手くコミュニケーションをとることが出来ず、悩むことがありましたが、日々、入居者さんのケアをしていくと、この方はこちらなのか、あの方はこちらなのか、一人ひとりのことが分かるようになってくると不安な気持ちもなくなってきました。

介護職は、大変なことたくさんありますが、冗談を言って笑わせてくれる方や、昔話をしてくれる方もいて、楽しく仕事ができます。これから一人ひとりが、その人らしい生活が出来るようにケアをしていきます。

### ボランティア活動 〜ありがとう〜

#### 灯光園デイサービスセンター

六月

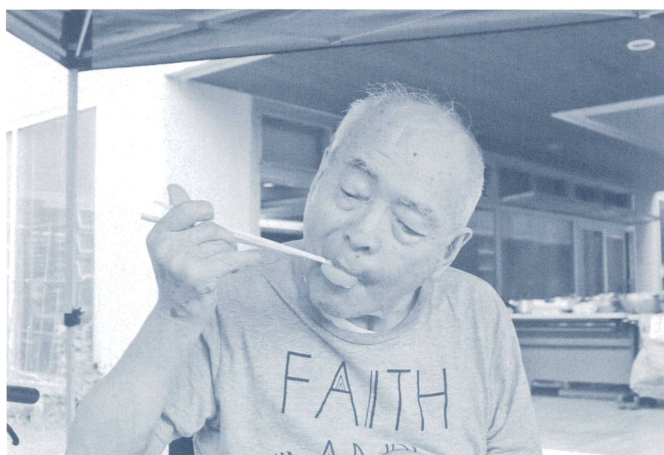
○鈴木 喜夫様 (俳句教室) 一回

七月

○鈴木 喜夫様 (俳句教室) 一回

八月

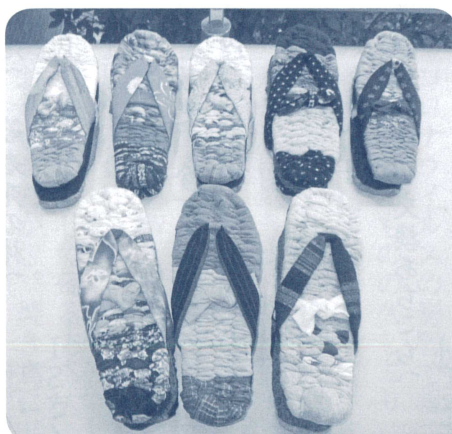
○鈴木 喜夫様 (俳句教室) 一回



### ご寄附

ありがとうございます

松林ろく様より草履をたくさんいただきました。



### 編集後記

暑い夏が過ぎ、最近は夕暮れから朝方はかなり涼しさを感じます。秋と言えば「食欲の秋」です。美味しい物をたくさん食べて秋を満喫したいと思います。